

会議結果のお知らせ

1 開催した会議の名称

令和8年度第3回岩手県大規模事業評価専門委員会

2 開催した日時

令和8年8月28日（金）13：30～16：20

3 開催場所

エスポワールいわて 3階 特別ホール（盛岡市中央通1丁目1-38）

4 出席委員

山本英和委員長、岩間妙子委員、菅原常彦委員、杉田早苗委員、
濱上邦彦委員、松木佐和子委員、八重樫健太郎委員（8名中7名出席）

5 専門委員会議題等

（1）議題

ア 大規模公共事業の事前評価及び再評価について＜継続審議＞

政策企画課から前回の審議概要及び県民意見募集の実施結果の概要について説明した後、事業担当課から補足説明があり、これについて審議が行われた。

その結果、継続して審議を要する事項及び追加説明が必要な事項はなく、審議は終了となった。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

【一般国道281号 小屋瀬道路 地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（葛巻町）】
（質疑）

交通量推計の根拠となっている国土交通省の交通量調査の頻度を教えてほしい。

また、今回採用するトンネル案と代替案である現道優先案の総事業費にほとんど差はないが、維持管理費等も含めて、トンネル案の方が合理的であるか。距離短縮効果については、両案で1kmの差となっているが、現道優先案との通行時間の差について伺いたい。

（回答）

国土交通省の交通量調査は概ね5年に1度実施されている。直近では令和7年度に調査を実施し、今年度は取りまとめを行っている。

維持管理費については、トンネル案の方が除雪等の距離が短くなるため、安いと考えている。距離短縮効果は、計画延長と現道延長の差から計算したものであり、トンネル案の方が計画延長が短く、短縮効果が大きい。

（質疑）

トンネル案を採用した場合に、現道の落石対策や嵩上げに係る費用は事業費には含まれないのか。

（回答）

トンネル案の場合、現道の危険箇所を回避できるため、事業費には含まない。現道で落石の危険性が懸念される場合には、別途事業での対策を検討する。

(質疑)

トンネル案と現道優先案の拡張便益に大きな差が出ているが何が要因か。

(回答)

救急救命率向上便益の差に起因するもの。

(意見)

今後は3便益の算出に影響する1日あたりの交通量を、評価調書に記載していただきたい。

(回答)

検討する。

【一般国道107号 白石峠 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)(大船渡市、住田町)】

当該事業について委員から質疑等はなかった。

<大規模事業評価に係る答申案について>

全ての事業について、「県の評価は妥当と認められる」との結論に至った(付帯意見なし)。

イ 大規模公共事業及び大規模施設整備事業の事後評価について<報告>

事業担当課から事後評価の内容について説明があり、これについて審議が行われた。

■ 専門委員からの主な質疑等は次のとおり

【一般国道397号 小谷木橋 地域連携道路整備事業(ネットワーク形成型)(奥州市)】

(質疑)

利用者アンケートから、冬季に路面が凍結した場合に危険を感じるという意見が多いようだが、供用後に事故は発生しているのか。

(回答)

交通事故は発生していない。橋梁の勾配が整備前より少し急になっていることから不安に感じるという意見であると理解している。

(意見)

事業評価の見直しに関して、架け替えの事業だと便益が比較的小さくなるとのことだが、例えば、数年後に橋が利用できなくなると仮定し、便益を算定すれば良いのではないか。

(回答)

架け替えや修繕をしなければ、この橋は走れなくなるという前提での試算もあるので、意見を参考に検討していきたい。

(質疑)

夜間照明のカゲロウ対策について、照明の種類を紫外線が少ないものにする、色味を変え昆虫が来ないようにするなど考えられるが、照明を消すしかない状況なのか。

(回答)

対策としては、照明を全部消した上で、橋よりも低い位置に虫を集めるように橋の下を照らす対策を追加で行っている。

(意見)

夜間照明については、通行者の安全を確保するためにも、照明の種類を変えることなどで改善できないか検討いただきたい。

(意見)

景観に配慮して整備された橋であると感じた。アンケートで景観の評価が高くなっていることから、取組が評価されているものと理解した。

(質疑)

河積阻害率が減少したとのことだが、実際に洪水時の水位や流量等で変化を確認しているのか。

(回答)

水位の変化は確認していないが、整備前は、河積阻害率の基準を満たしていないため、洪水の際に被害が生じる恐れがあったものが、事業により解消されたものである。

【和賀中部岩崎 経営体育成基盤整備事業（一般型）（北上市）】

(質疑)

生産費が低減したかというアンケートには、生産費に水管理の省力化の効果は入っているのか。入っていないのであれば、生産費の低減効果として含めた方が良いのではないか。

(回答)

回答者によっては、自身の水管理の労力低減を事業効果に含めていない可能性がある。今後、インタビュー形式を組み合わせるなど、アンケート手法を検討したい。

(意見)

岩手県の場合、農業の従事者が全国の中でも多い方だと思うが、従事者が少なくなっていく中で、当該事業が農業従事者の方々にとって非常に魅力的で、良い事業だということが数値的な部分で分かれば参入してくる可能性が高くなるのではないか。当該事業で削減した労働時間をより具体的に示せると良いのではないか。

(質疑)

自然環境の評価で、鳥類の営巣地に影響がないような工事期間にしたとのことだが、それ以外の生き物への影響と事業評価への反映について伺いたい。

(回答)

鳥類以外に配慮が必要になる希少野生動植物は確認されなかった。

(意見)

事業計画当初から事業費の増加額が比較的少なく、アンケート結果からも効果的な事業であったと考えられるので、成功例としてPRしてもらいたい。

【岩手県立久慈高等学校改築等事業（久慈市）】

(質疑)

事業の効果測定に関して、学校評価の結果を根拠としているが、校舎の使いやすさや快適性等、施設そのものに関する評価が必要ではないか。

(回答)

今後の事後評価では、施設満足度に関する部分を追加で設定して、アンケートを取るよう調整したい。

(意見)

大規模事業に限らず、事業の目的が達成されているか確認が必要であり、本事業であれ

ば、生徒が安心安全に学んでいるか、実際に校舎を活用している生徒からフィードバックを受け、次の事業につなげることが重要ではないか。

(意見)

生徒は校舎を他校と比較することは難しいと考えられるため、施設計画の専門家に相談し、評価内容に反映した方が良いのではないか。

(質疑)

本事業の事業費の妥当性はどのように確認しているのか。

(回答)

面積あたりの単価を定めて確認している。

(意見)

今回の事業で新設された体育館が避難所となっているのであれば、防災機能の強化という観点で評価を行っても良いのではないか。

ウ 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

政策企画課から公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画について説明があり、了承された。

(2) 会議資料

- 資料 No. 1 令和 8 年度大規模事業評価地区 位置図
- 資料 No. 2 大規模事業評価専門委員会の審議概要
- 資料 No. 3 大規模事業評価についての県民意見募集の実施結果
- 資料 No. 4 大規模事業（事前評価・再評価）継続審議資料

【事前評価】

- ・一般国道 281 号 小屋瀬道路
地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（葛巻町）

【再評価】

- ・一般国道 107 号 白石峠
地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（大船渡市、住田町）

- 資料 No. 5 令和 8 年度大規模事業 事後評価 関係資料
 - ・一般国道 397 号 小谷木橋
地域連携道路整備事業（ネットワーク形成型）（奥州市）
 - ・和賀中部岩崎 経営体育成基盤整備事業（一般型）（北上市）
 - ・岩手県立久慈高等学校改築等事業（久慈市）

- 資料 No. 6 公共事業及び大規模事業の事後評価実施計画の策定について

- 参考資料 答申書（案）及び審議結果報告（案）

※ 会議資料及び会議録については、行政情報センターへ配架するとともに、県のホームページに掲載します。

6 傍聴人数

一般 1 人、報道 3 社

7 問い合わせ先

〒020 - 8570 盛岡市内丸 10 番 1 号

岩手県政策企画部政策企画課 TEL : 019-629-5181 FAX : 019-629-6229

8 ホームページアドレス

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/seisaku/hyouka/hyoukasenmon/1099474/1101911.html>

9 その他

政策等の評価について御意見がありましたら、上記問い合わせ先まで FAX 等でお寄せください。
今後の専門委員会での審議の参考とさせていただきます。